

# 道徳の時間学習指導案

世羅町立甲山中学校  
指導者

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 15 日 (木) 第 4 校時
- 2 学 年 第 2 学年 A 組 36 名 (男子 21 名, 女子 15 名)
- 3 場 所 A 棟 2 階 2 年 A 組 教室
- 4 主 題 名 強い意志【内容項目 A-(4) 希望と勇気, 克己と強い意志】
- 5 ねらい 大妻コタカさんの生き方を通して, 目標を実現させるために希望と勇気をもって, 困難や失敗を乗り越えて粘り強く最後まで着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を育てる。
- 6 教 材 「焦土から立ち上がる」 (大妻コタカ著『ごもくめし』より抜粋)

## 7 主題設定の理由

### ○主題観・価値観

本主題は、『中学校学習指導要領特別の教科 道徳編』の A—(4)「より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気を持ち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。」に基づくものである。

中学生期は将来の夢や目標を具体的に考える時期にあり, それに向けて頑張っていこうとする気持ちが高まってくる。目標が達成されたときには成就感や満足感を覚え, 自信や勇気が起こるものである。反面, 失敗を恐れ回避しようとして安易な選択をしてしまいがちでもある。

生徒には, 目標の実現には様々な困難を乗り越えることが必要であることに気づかせ, 困難や失敗を受け止めて自分自身の弱さに打ち勝ち, 目標に向けて挑戦し続けることの大切さを考えさせたい。そのことを通して, 粘り強く最後まで着実にやり抜こうとする道徳的実践意欲を育てたいと考え, 本主題を設定した。

### ○生徒観

本学級の生徒が 5 月に行った第 1 回校内「学習・生活アンケート」で, 「目標となる先輩がいる」と肯定的に回答をした生徒の割合は 83.8%であった。このことから多くの生徒が先輩の姿に憧れ, 目標としていることがわかる。また, 6 月に実施した「道徳教育改善・充実」に係る意識調査では, 「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に回答した生徒の割合は 87.0%で, 「将来の夢や目標に向かって努力している」と肯定的に回答した生徒の割合は 85.0%であった。生徒の多くが成

長した自分の姿を思い描いて目標を立てて努力しようとする意欲がみられる。しかし、実際の生活の中では、目標を立ててもすぐに諦めてしまい、達成するために努力を重ね、粘り強く取り組もうとする意志が弱い生徒が少なくない。一部の生徒には努力しても自分には無理だろうという決めつけた考えをする傾向があり、自分に自信が持てずに自分の限界を決めてしまっている様子も見られる。

## ○教材観・指導観

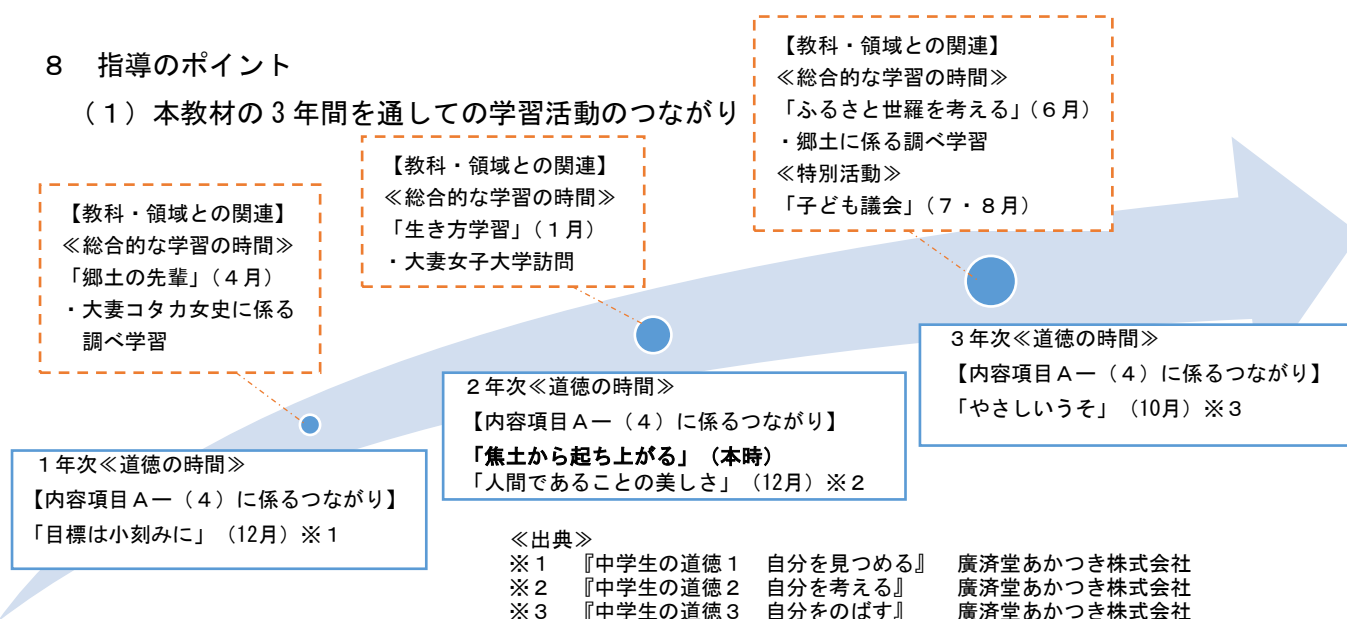
本教材は、世羅町名誉町民である大妻コタカ女史の自叙伝『ごもくめし』の抜粋をまとめて作成したものである。大妻コタカ女史は、女子教育が普及し始めた時代の中で、生涯を女子教育一筋に捧げ、裁縫塾から始め、大妻女子大学の前身である大妻技芸学校と大妻高等女学院を設立した。しかし、関東大震災で被災し、建てたばかりの校舎を失ってしまう。本資料にはそこからあきらめずに、学校再建に力を尽くした大妻コタカ女史の生きざまが描かれている。

生徒はこれまで総合的な学習の時間において、大妻コタカ女史について学習をしてきた。本時ではこれまでに学習してきたことを踏まえて、大妻コタカ女史の困難に立ち向かう生き方について触れる。本教材を通して目標の実現に向かって努力することは、自分自身の生活を充実させることに繋がることを、より高い目標に向かって困難を乗り越え、粘り強く実行した大妻コタカ女史の生きざまから気づかせたい。

指導に当たっては、個人思考からペア学習へと繋げ、多様な考えに触れて自分の考えをもとに話し合う場を設定する。それを全体場で交流し、互いの学び合いの中で道徳的価値を深めさせていく。また、生涯をかけての理想や目標を持ち、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続けた大妻コタカ女史の生き方から、日々の生活を充実させていくことが大切であることに気づかせ、ねらいに迫りたい。また、本校の合い言葉である「一生懸命はかっこよく、美しい」を掲げて努力している姿を思い起こさせ、果敢に挑戦した結果、失敗した姿も美しいということに気づかせて、結果ではなく過程に価値があることに意識を向けさせることで、自分の生活にしっかりと引き寄せて考えることができるようにしていく。

## 8 指導のポイント

### (1) 本教材の3年間を通しての学習活動のつながり



(2) かかわり合う場の充実にむけたポイント

㊦ じん (個人) で考えを持つ	中心発問に対して最初に個人で思考させる場を確保することで、一人一人の考えをしっかりと持たせる。
りゆ ㊦ (理由) を整理して伝える	大妻コタカ女史の困難に屈することなく立ち向かった学校再建への熱意の理由を整理して伝えさせる。
さま ㊦ ま (様々) な角度から考える	ペア学習や全体交流で出た意見に対し、考えの理由を問い返すことで、意見の違いを明確にして、多面的・多角的に道徳的価値をとらえさせる。
じぶ ㊦ (自分) ごととして考える	終末で、学習課題について自分の考えをまとめさせることで、道徳的価値について自己の考えを深めさせる。

9 評価の視点

【視点1】多面的・多角的な見方へと発展しているか。

- ・目標に向かって粘り強く取り組み、困難や失敗を乗り越える強い意志について、様々な意見に触れて考えようとしている。

【視点2】道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

- ・すぐに諦める自分の弱さをとらえ、どうすれば強い意志を持って物事を最後まで諦めることなくやり遂げることができるかを、自分の立場に置き換えて考えようとしている。

- 10 準備物 教材（「焦土から立ち上がる」大妻コタカ著『ごもくめし』より抜粋したもの）、  
発問短冊、関係写真、ワークシート

11 学習指導過程


	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き 主な発問 (○) 中心発問 (◎) 予想される生徒の反応 (・)	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 課題意識を持つ。 大妻コタカ女史について学習したことを振り返る。	○大妻コタカ女史について学んできたことで、すごいなと尊敬する面はどんなところですか。 ・大学を設立したところ。 ・「恥を知れ」の言葉を残しているところ。 ・女子教育に力を注いだところ。 ・意志が強いところ。 ・何度も困難にぶつかったのに、成し遂げたところ。	○総合的な学習の時間で学んだことを写真などで示して、自分の考えを進んで発言しようとする雰囲気をつくる。 ○大妻コタカ女史について学んできたことを、本時の学習内容に絞って整理する。

展 開	2 資料を読む。		○資料を範読する。
	3 大妻さんの気持ちを考える。	○初めて涙を流した大妻さんは、何とつぶやいたでしょう。 ・もうだめだ。 ・これからどうなるんだろう。 ・生徒のみんなに申し訳ない。 ・くやしい。	○関係写真を提示して視覚支援をする。
	<b>《かかわり合う場の充実》</b>		
4 再建を目指した大妻さんの心情を捉える。 【個人思考→ペア学習→全体交流】	◎ 大妻さんの再建への熱意はどこから出てきたのでしょうか。 ・生徒のためにあきらめるわけにはいかない。 →自分の行動が、誰かのためになるから。 ・これまで頑張ってきたんだから、今までの苦労を無駄にしたくない。 →成し遂げたときの達成感を味わいたいから。 ・夢を途中であきらめたくない。 →目標に向かって頑張りが続けることが大切だと考えているから。 ・まだできることがあるはずだと考えている。 →なりふりかまわずまだまだやれることは残っていると考えているから。 ・日本の女子教育の発展のため。 →人の応援や期待に応えるため。 ・「恥を知れ」の言葉の思い。 →自分の行動を振り返って恥じない行動をするため。諦めそうになったときに、もう一度初心に戻ってみる。 補 あなたは、この言葉があれば頑張れると思う言葉がありますか。 ・「一生懸命はかっこよく、美しい」という甲山中学校の合い言葉がある。	○ペア学習をすることで自分の意見を整理し、相手にわかりやすく伝えることができ、さらに、全体の場で自信を持って発言できるようにする。 【視点1】 目標に向かって粘り強く取り組み、困難や失敗を乗り越える強い意志について、様々な視点から考えようとしている。 ○なぜ、最後までやり遂げることができたのかを考えさせ、達成するために必要なものを考えるよう促す。	

<p>展開</p>		<p>○大妻さんは成功したからすごい人なのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成功したからすごいのではなく、成功するまで諦めずに努力したことがすごい。</li> <li>・もうだめだと思うくらいひどい目に遭っても、目標を達成するまでは決して諦めずに、できることをやりきった結果が成功に繋がったのだと思う。</li> <li>・楽な道を選ばずに、つらい目に遭ってもやりきったところがすごい人だと思う。</li> <li>・挫折や失敗を恐れずに、自分の意志を貫いてやりきったところがすごい。</li> </ul> <p><b>補</b> 「一生懸命はかっこよく、美しい」という合い言葉でみんなは頑張っているけれど、頑張って結果が出せなかったらかっこ悪い？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一生懸命頑張ることに価値があると思うから、結果が出せなくてもかっこ悪くはない。</li> <li>・一生懸命やったことで出た結果だから、それまで頑張ったことがかっこいいと思う。</li> <li>・結果はどうあれ、一生懸命頑張ることで達成感を得ることができる。</li> </ul>	<p>○結果が出せなかったらかっこ悪いのか？という視点から考え、結果がすべてではなく、果敢に挑戦した結果、失敗した姿も美しい、一生懸命に頑張ることに意味があることに気づかせる。</p> <p>○大妻さんの生き方をもとに「一生懸命はかっこよく、美しい」という合い言葉の意味を考え直すことを通して、自分の生活に引き寄せて考えさせる。</p>
<p>終末</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の学習を通して考えたことをまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を通して、全財産を大学設立のために使い、震災ですべてを失ってもまだあきらめずに再建できるところまでやりきった大妻さんはすごい人だと思った。私は失敗したらすぐにあきらめてしまって、やりきることができなかった。何かを成し遂げるまでやり続けることの大切さに気づくことができた。</li> </ul>	<p><b>【視点2】</b></p> <p>すぐに諦める自分の弱さをとらえ、どうすれば強い意志を持って物事を最後まで諦めることなくやり遂げることができるかを、自分の立場に置き換えて考えようとしている。</p>

<p>終末</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一生懸命頑張ることに意味があるということが分かった。私は入学したときから「一生懸命はかっこよく、美しい」という甲山中学校の合い言葉で頑張っている。でも、結果を出すことにばかり気を取られていて、「どうせ私にはできない」とやる前からあきらめていたこともあった。何事にも一生懸命努力し続けることができれば、もっと充実した学校生活になると思った。</li> </ul>	<p>○評価の視点にそった感想を意図的指名により発表させる。</p> <p>☆目標を実現させるために、困難や失敗を乗り越えて、粘り強く最後までやり遂げようと考えている。</p>
-----------	--	--	--

## 12 板書計画

<p>学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○やり続けることの大切さ。</li> <li>○一生懸命頑張ることに意味がある。</li> <li>○充実した学校生活にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のためにあきらめるわけにはいかない。</li> <li>・これまで頑張ってきたのだから、今までの苦労を無駄にしたくない。</li> <li>・夢を途中であきらめたくない。</li> <li>・「恥を知れ」の思い。</li> </ul> <p>◎大妻さんの再建への熱意はどこから出てきたのでしょうか。</p>	<p>初めて涙を流した大妻さんには、何となくやっていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もうだめだ。</li> <li>・これからどうなるんだろう。</li> <li>・生徒のみんなに申し訳ない。</li> <li>・くやしい。</li> </ul>	<p>焦土から立ち上がる</p> <p>知恥 れを</p>  <p>関係写真</p>
---	---	--	---